

教育目標「考える子 思いやりのある子 たくましい子」



せんだんの木



伊勢崎市立茂呂小学校 学校だより No.15 令和6年2月7日

2月に入り、3学期も中盤。学年のまとめの時期となりました。

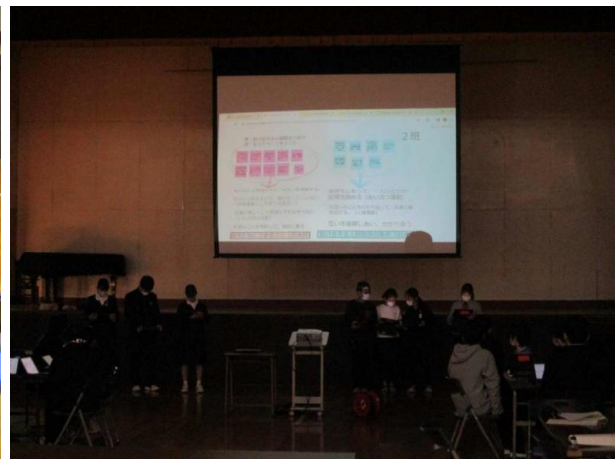
先月、能登半島地震の被災に対して自分たちにできることはないかと学級委員会が考えて実施した募金活動。保護者の皆様にご理解とご協力をいただき大変ありがとうございました。社会の出来事に関心を持ち、社会の一員として自分たちに何ができるか、どうするべきかを考えていく姿勢が身に付くよう、今後も子供たちを指導していきたいと思えます。

また、校庭では長縄大会に向けて練習に励んでいる様子が見られます。「結果より過程」。大会の結果も大事ですが、そこまでのプロセスが重要です。皆で一つのことに取り組むことを通して、協力する力・やり抜く力・諦めない力・創意工夫する力など、ペーパーテスト等の数値では測れない能力（「非認知能力」と言います）を身に付けてほしいと願います。

【いじめ防止活動 ～一中地区子ども未来会議～】

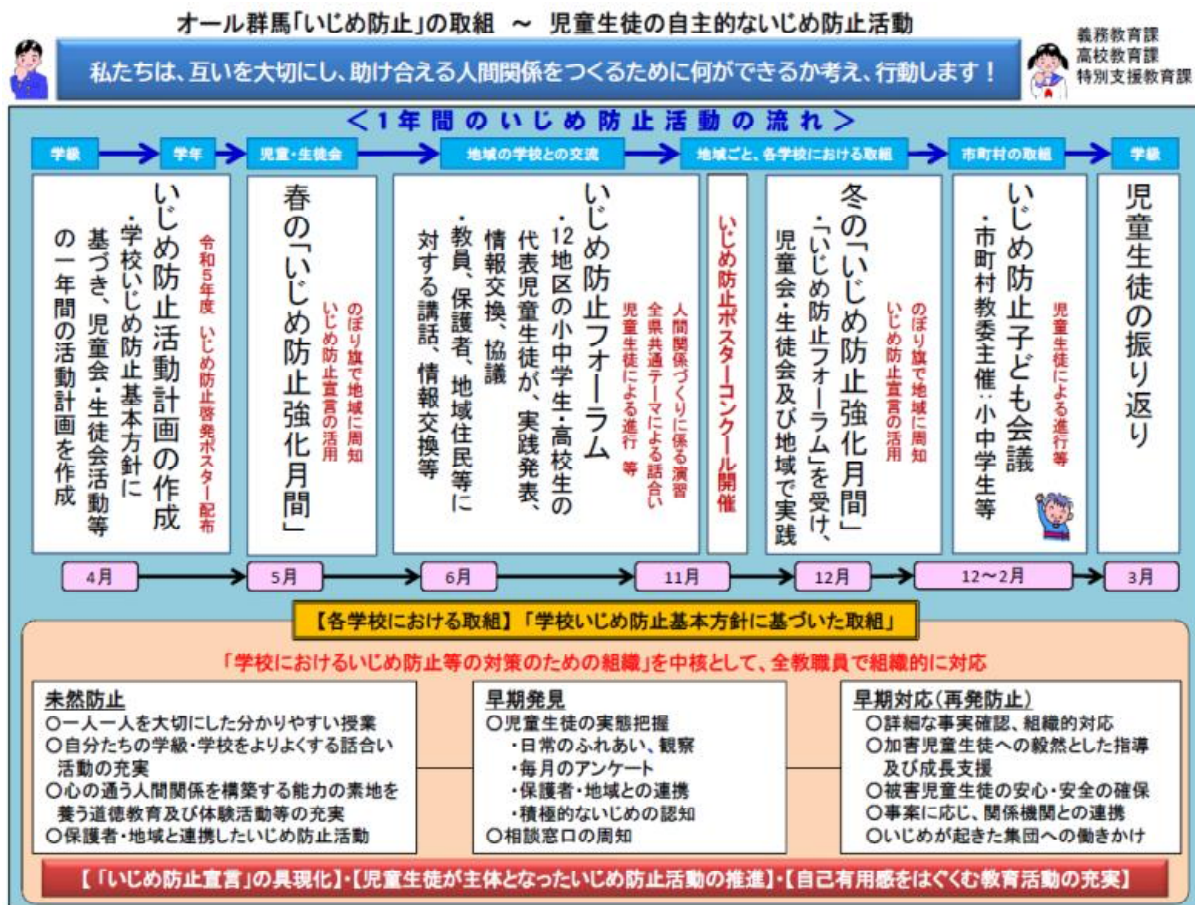
平成25年度から群馬県全体で進めている「児童生徒の自主的ないじめ防止活動」。1月26日（金）、第一中学校区の3校の代表児童生徒が集まり、「互いを大切にし、助け合える人間関係を作るために何ができるか」について話し合いました。参加した6年生8名（各学級の学級委員2名ずつ）は、本校での取組を紹介するとともに、「助け合える人間関係の条件」「自分たちにできること」をグループ協議で真剣に考え、堂々と発表しました。そして、当日の話し合いを受けて考えたことを動画にまとめ、全校児童に広めました。

いじめは未然防止が大切で、大人が子供たちを守る相談体制（相談機関設置、SC配置等）を構築しつつ、「子供たち自身がいじめのない学校生活を自分たちで作る」という意識を育て、子ども同士でよりよい人間関係作り、学校生活作りをすることがとても重要です。本校でも挨拶運動や「ありがとうの魚」「わくわく集会」等の皆と仲良くする活動、絆を深める活動を児童会を中心に進めています。引き続き、いじめのない学校生活をつくるにはどうしたらいいかを子供たち自身で考え、自分たちでできることを実践するということを大切にしていきたいと思えます。



※「茂呂小ブログ」で様々な教育活動等、学校の様子を写真で紹介しています
<http://isesaki-morosyōu.blogspot.com/>

また、下図は「一年間のいじめ防止活動の流れ」を示したものです。4月の新しい学級のスタートから学年、学校全体、そして地域全体と取組を広げ、最後には学級に戻り、一人一人が自分自身の生活を振り返るといった流れになっています。



(資料：群馬県教育委員会「令和5年度いじめ問題対策事業」より)

【インターネットやSNSの危険性から子供たちを守る】

社会におけるスマホの普及、そして国のGIGAスクール構想に基づく児童生徒一人1台端末の整備により、学校における学習環境も子供たちの学習生活スタイルも大きく変わってきています。本校でも今年度は2年生以上で情報モラルに関する授業を取り入れ、ICT機器等のデジタルツールの正しい使い方について指導しているところです。

少し前までは、コミュニケーションの主な方法は「直接会って話す」「電話で話す」「手紙を書く」というものでした。その中で上手な話し方や聞き方、そして書き方といった言語力やコミュニケーション能力が育ったように思います。

しかし、インターネットやSNSの急速な普及によって、相手の顔が見えないままのコミュニケーションが一般的になっているのが現状です。顔が見えると相手と気持ちを通わせることができますが、SNS等では送り手の気持ちが伝わりにくいという問題があります。小中学校でもインターネットやSNS上でのいじめの問題も深刻化しています。軽い気持ちの投稿が瞬く間に拡散し、相手を傷つけ、取り返しのつかない事態に発展している事例も数多くあるようです。ご家庭でICT機器を子供に与える場合は、フィルタリングの利用やアプリの年齢制限を確認する、使用する時間や置く場所を決める、困ったときは一人で悩まないで相談する等、子供と話し合って家庭のルールを作ることが有効だと思います。保護者の皆様にもご協力をよろしくお願いいたします。

※「茂呂小ブログ」で様々な教育活動等、学校の様子を写真で紹介しています
<http://isesaki-morosyou.blogspot.com/>